

# 牧草地の強害雑草イタドリのサイレージ化による飼料利用

畜産研究所

酪農経営においては、大豆粕などの高額なタンパク質飼料を補完する必要があり、新たな高タンパク質飼料作物が求められています。

牧草地の強害雑草とされるイタドリ (*Fallopia japonica*、英名: Japanese knotweed) について、飼料成分、嗜好性等を調査した結果、高タンパク質飼料としての利用が可能なが明らかとなったので紹介します。

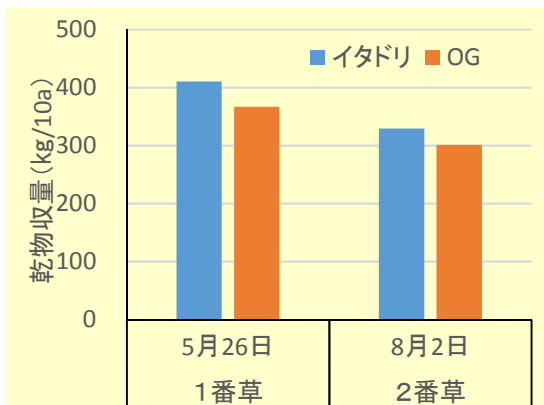


図1 乾物収量の比較

注) OGは当所作況試験の平年値



採草地のイタドリ繁茂地におけるイタドリの乾物収量はオーチャードグラス(OG)を上回ります。



飼料成分の比較

注1) CP: 粗タンパク質、ADF: 酸性デタージェント繊維、NDF: 中性デタージェント繊維  
 2) OGの値は左から順に、1番草出穂前、1番草出穂期、再生草出穂期(日本標準飼料成分表(2009年版))

OGに比して、CP高く、繊維成分(ADF、NDF)は低い、高タンパク低繊維飼料であることが分かりました。

イタドリはシュウ酸を2~3%含み、単味で給与すると中毒の危険がありますが、牧草や配合飼料との混合給与では問題のない含有率です。また、サイレージは消化性及び嗜好性が高いことを確認しています。

お問い合わせ

畜産研究所 酪農飼料環境部(Tel 0175-64-2791)

あおもりの未来、  
技術でサポート



青森  
産技